



ライトアップフェスティバル
秋の海にも癒されてほしいと、2019年秋に開催。好評を博した



ビーチフェスティバル (2020年はコロナのため中止)
2013年から毎年夏に開催。音楽ライブなどで盛り上がる



「1000人のビーチクリーン」の様子
(2020年はコロナのため中止)

今後のイベント

感じて考えるビーチクリーン
2月28日(日)、3月28日(日)9時~11時
会場: 菖蒲田浜海水浴場 (現地集合・現地解散)
参加無料・申込不要・トングなどの貸し出しあり。
「うみ・ひと・まち・みらい」
10年目の展示プロジェクト。
2月20日(土)~3月28日(日)
七ヶ浜国際村にて開催予定。



教育とアート
町内の中学生に大漁旗を制作してもらい、海水浴場に展示



びいいち (現在はコロナのため休止中)
サーフ体験やビーチヨガなどを開催

特集

震災から10年 見据えるのは、次の10年。

カフェレストラン SEASAW



オーナー 久保田靖朗さん

☎ 022-355-9119
🕒 ランチタイム 11時~16時 (木曜定休)
ディナータイム 18時~22時 (土・日・祝)
<ホームページ>
<https://www.seasaw.me/>

SEVEN BEACH PROJECT
📧 sevenbeach.fes@gmail.com

東日本大震災から10年。被災した地域も、魅力あふれる新しいエリアに生まれ変わっています。これからも続く変化の中で、未来に向けた活動に取り組み人や、震災を伝える施設についてご紹介します。

震災で大きな被害を受けた七ヶ浜町は、町のシンボルといえる菖蒲田浜の海開きや新スポットの誕生など、より魅力ある町に生まれ変わろうとしています。その活動を牽引しているのが、地域内外の若者で結成された「SEVEN BEACH PROJECT」(セブンビーチプロジェクト)です。メンバーの一人であるカフェレストラン「SEASAW」のオーナー・久保田靖朗さんは、千葉からボランティアとして移住後、七ヶ浜を盛り上げるさまざまな活動を行ってきました。「プロジェクトが始まった2013年から、「ガレキからビキニへ」をコンセプトに、また海に行きたいと思ってもらえるような活動に取り組んできました」と久保田さん。多くのイベントの開催やビーチクリーン活動に加え、海に来た人が気軽にビーチクリーンをできるような仕組みも整えたそうです。そこには、生活を豊かにしてくれる自然を次の社会につなげたいという思いがありました。「お世話になった人たちに恩返しをしたいという思いはもちろん、海と人の間にある共有スペースのようなビーチを、地域社会にとつての次の価値として残していきたいと考えています」。

震災から10年。復興のための活動は、より大きな視点に発展して

います。「次の10年を考えたときに見えてくるのがSDGsです。このまま私たちが自然との関係性を変えなければ、地球温暖化などの課題に直面するという試算が見えている中、どう方向転換できるのが課題だと思います。新型コロナウイルスの問題もある中、震災から10年という時間は未来にとつてどんな価値があるのか、何が大切だったのかについて答えを出すこと、そして自分事として捉えることが大切だと思います」。

今後は今の活動を次の世代につなげ、新たな活動にシフトしていきたいと久保田さん。次の世代を育てるために、アートを通した教育活動も行っています。「春には震災後に生まれた子どもたちによる海の写真の展示も企画しています。子どもたちに、海に関する良い思い出を持ってもらい、海のことを考えるきっかけになってほしいと思います」。

復興から、次の目標へ。久保田さんたち「SEVEN BEACH PROJECT」の視線は、常に前を向いています。



ビーチクリーン
今も毎週土曜日にビーチクリーンを続けている

震災で大きな被害を受けた七ヶ浜町は、町のシンボルといえる菖蒲田浜の海開きや新スポットの誕生など、より魅力ある町に生まれ変わろうとしています。その活動を牽引しているのが、地域内外の若者で結成された「SEVEN BEACH PROJECT」(セブンビーチプロジェクト)です。メンバーの一人であるカフェレストラン「SEASAW」のオーナー・久保田靖朗さんは、千葉からボランティアとして移住後、七ヶ浜を盛り上げるさまざまな活動を行ってきました。「プロジェクトが始まった2013年から、「ガレキからビキニへ」をコンセプトに、また海に行きたいと思ってもらえるような活動に取り組んできました」と久保田さん。多くのイベントの開催やビーチクリーン活動に加え、海に来た人が気軽にビーチクリーンをできるような仕組みも整えたそうです。そこには、生活を豊かにしてくれる自然を次の社会につなげたいという思いがありました。「お世話になった人たちに恩返しをしたいという思いはもちろん、海と人の間にある共有スペースのようなビーチを、地域社会にとつての次の価値として残していきたいと考えています」。

震災から10年。復興のための活動は、より大きな視点に発展して

気仙沼アムウェイハウス 拓

気仙沼に賑わいを！コミュニティ施設がオープン

東北支援プロジェクト「Remember HOPE」の一環として、コミュニティ施設「拓」がオープンしました。コミュニティホールのほか、震災で店舗を失った地元の鮮魚店、青果店、さらに気仙沼初となるクラブビールのブリュワリー「BLACK TIDE BREWING」から構成されています。周辺に誕生した「創」「迎」「結」などの商業施設と合わせて、気仙沼の新しい街をめぐってみては。



BLACK TIDE BREWING



- 所 気仙沼市南町 3-2-5
- 各店舗による
- 開 各店舗による
- 休 各店舗による



新鮮な海の幸を販売

JR フルーツパーク仙台あらはま

果物の摘み取り体験やレストランを満喫！

津波で被災した仙台東部沿岸地域に、1年を通して果物などの摘み取り体験を楽しめる施設が3月18日にオープン。2021年はイチゴとブルーベリーを、2022年以降はブドウ、リンゴ、ナシなど8品目156品種の摘み取りができる予定です。併設されたカフェ・レストラン「LES POMMES」では、ホテルメトロポリタン仙台のシェフがプロデュースした、園内や地元でとれた食材を使用したメニューも味わえます。



園内には直売所もあり

- 所 仙台市若林区荒浜地区
- 022-390-0770
(仙台ターミナルビル株式会社)
- 開 10時～16時
- 休 火曜(祝日の場合翌平日)

11haもの広大な敷地が広がる

震災を伝える

未来を考える

未来や防災を考えるきっかけとなるよう、2020年にオープンまたは2021年にオープン予定の、震災に関連した施設をご紹介します。

山元町震災遺構 中浜小学校

津波に耐えた校舎から震災・防災を学ぶ

震災当日、屋上に避難した児童・教職員・保護者ら90人の命を守った旧中浜小学校の校舎を公開。1階部分の津波が通り抜けた痕跡や、90人が一夜を明かした屋根裏倉庫、震災時の証言映像などを展示する、被災した校舎に立ち入れる貴重な震災遺構です。津波の威力や震災当日の様子を肌で感じ、震災について学びながら、防災についてできることや日ごろの備えについて、あらためて考えてみてはいかがでしょうか。



津波に流された備品をそのまま展示

- 所 亘理郡山元町坂元字久根22-2
- 0223-23-1171
- 開 9時30分～16時30分
(最終入館16時まで)
- 休 月曜(祝日の場合は翌休)
- 料 一般400円、高校生300円、
小・中学生200円

写真提供:山元町教育委員会



県南に残る唯一の被災建築物を保存・公開

名取市震災復興伝承館

震災の記憶や教訓を伝え防災意識の醸成を目指す

2020年5月に開館。津波で大きな被害を受けた名取市について、ジオラマやパネル、映像などから震災時や被害の様子を学ぶことができます。また、周辺には、かさ上げした堤防沿いにオープンした「かわまちてらす閣上」や慰霊碑が建つ「震災メモリアル公園」など、震災に関連した施設も点在するので、合わせて訪れるのもおすすめです。



震災前の閣上の街のジオラマの展示



名取川や海を望んで建つ

- 所 名取市閣上2-66
- 022-393-6520
- 開 9時30分～16時30分
(12～3月は10時～16時)
- 休 火曜(祝日の場合翌休)

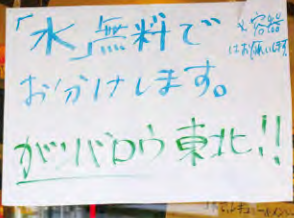


『仙台っこ』で振り返る 震災から 10年

2011
～
2021

2011
立春号

▲震災後、JR仙台駅の修復作業の様子
(2011年3月29日 JR仙台駅)



◀震災後、街中のいたるところで見られた、助け合いや応援のメッセージ
(2011年3月23日 仙台市内)



▲地震の揺れで倒れた時計
(2011年3月24日 仙台市内)

2019
立春号



▲東松島市の小野駅前応急仮設住宅で誕生した「おのくん」は、絵本や人形劇に



◀塩害に強い綿を育てる「東北コットンプロジェクト」も継続

2020
立春号

七ヶ浜町菖蒲田浜で開催されるビーチクリーン。今はさまざまなイベントの場となり、多くの人を訪れている



2021
立春号

「仙台っこ」では、毎年震災からの復興の様子を紹介するため、多くの方々にご協力いただき、お話を伺ってきました。辛い思いをされながら、前を向いて街や人のために力を尽くす姿を見て、仙台・宮城の人の強さや温かさを感じました。被害の大きかった地域にも新しいスポットが次々と誕生しています。これからも、仙台・宮城の新しい魅力をお伝えしていきたいと思えます。最後に、大変な中、取材にご協力いただいた皆様、誠にありがとうございました。

防災&感染予防いろはかるた

仙台育英学園高等学校のアイデアのもと、石巻市のご当地キャラクター「イシノマキマン」とコラボした防災&感染予防いろはかるた(1000円)。石巻市の観光施設で販売している他、イシノマキマンHPからも注文可能。



遊びながら楽しく
防災学習!

問 ビヨンド ☎ 0225-98-9087
販 <https://www.ishinomakiman.com/>

ポイレット

水なしで使用できる使い捨てのトイレバッグポイレット(30枚入3850円)。震災時で水が流せないときも、水洗トイレの便器やバケツ、ダンボールに被せて使用可能。別売で簡易ダンボールトイレ(3750円)もあり。



簡易ダンボールトイレ

ポイレット(30枚入)

問 ハレルヤワークス ヘルスアシスト倶楽部
☎ 0120-685-588
【ポイレットHP】<http://www.poilet.jp/>

Present
57ページ参照

備えて安心!
防災アイテム

震災から10年を機会に、もう一度、家庭の備えを見直してみませんか。備蓄用品から防災を学べるアイテムまで幅広くご紹介いたします!

お子さまの
備えにも

ビスコ保存缶

おやつ定番「ビスコ」が30枚入った保存缶(476円)。慣れ親しんだ味で食べやすく、震災時に不安定になりがちなお子さまにもおすすめ。



どこでもスイーツ缶

缶切り不要の缶詰に入ったスイーツシリーズ(各540円)。やわらかな食感で、子どもからお年寄りまで安心して食べられる。震災時に不足しがちなカロリーの補給にも。



IZAMESHI

おいしさ、デザイン性にもこだわった長期保存食。麺類や缶切り不要の缶詰などラインナップも豊富。本格的な味わいなので、ローリングストックも楽しくなりそう。(煮込みハンバーグ(右・432円)、まんぞく豚汁(左・378円))



新しい視点の
長期保存食

問 仙台ロフト ☎ 022-224-6210

水のいらない泡なしシャンプーウェット手袋 歯みがきシート

震災時の断水で入浴や歯みがきができず、困った人も多いはず。水のいらない泡なしシャンプーウェット手袋(306円)や指サック型の歯みがきシート(605円)があれば、気分転換にも。

